

教育長日記 (平成25年3月1日)

青い空に浮かぶ白い雲20

—「東大和市議会 第1回定例会」

東大和市教育委員会 教育長 真如昌美



(今日の言葉) 遠方ながら母見て居申す (本居宣長の母)

東大和市議会 第1回定例会

平成25年東大和市議会第1回定例会が2月26日に召集され、尾崎保夫市長の「施政方針」は「学校教育」についてから始まりました。このことは、教育の充実なくして我が国や東大和市の発展は期待できないという市長の意思の現れです。

議会は、2月26日の市長による施政方針に続き、28日の施政方針に対する各党「代表質問」を経て、現在は、「一般質問」に入っています。

今定例会においても、学校教育、社会教育ともに質問が多く、学校に関しては、いじめの問題や食物アレルギーにかかわる問題、肥満や虫歯予防など、市教育委員会や学校の取り組み状況についての質疑応答が続いています。

私たち「教育委員会」と「学校」は、市民の中から選ばれた代表が集まる議会の重みを感じながら、市民の教育への熱い期待に応えられるよう、協力して教育の改善、充実に向けた具体的な取組みを進めていきましょう。

「東京マラソン」

先日、東京マラソンが行われました。このレースには、私が指導室長だった時に1年目の職員として働いていた遠藤さん（現在は市民部保険年金課）がランナーとして走り、また、教育委員会社会教育部の福土さん（本年度採用者）が東京国体・オリンピック招致PRゆりーとランナーとして参加したので、私も朝から出かけ東京タワーが見下ろす御成門交差点付近で応援をしました。

ケニアの快速ランナーが駆け抜けしばらくたって、オレンジのTシャツ姿の遠藤さんが見えました。「遠藤！頑張れー！遠藤！頑張れー！」大声で声援をしました。遠藤さんは快調に目の前を駆け抜けていきました。（品川折返し後は表情が変わっていましたが…）

次は、レースの最後尾を走る各市区町村から選ばれた「ゆりーとランナー」の福土さんを大勢のゆりーとの中から見つけること、品川から折返してきたゆりーとの帽子と羽を身に付けた集団が通過するところで、必死に「福土はいるかー！福土はどこだあー！」とまたまた大声を張り上げ、ようやく見つけてハイタッチ。私が居たことに驚いた様子で、通過後も何度も振り返るゆりーとの姿はとても初々しく見えました。後で、昨年走った高橋国体推進担当副参事も応援に行っていたことを聞き、親ゆりーとのやさしさにも触れることができました。

ちなみに、遠藤さんのタイムは3時間17分でした。

※ 先日市民の方から教育長日記読んでるよ。ただ、この頃文字が小さくなって読みにくくなったよとのお声

をいただきました。たくさん書こうとつい欲張りすぎたようです。